

1 学校長あいさつ 校長 佐々木 理夫

今年度から普通科1学級の募集となり、23人の新生を迎え、地域に根差した新しい学び、地域探究「猪苗代学」を実施することとなりました。「地元を知る・体験する・考える・発表する」ことで、思考力・判断力・表現力を身に付け、地域に貢献する人材の育成を目指します。これまで以上に猪苗代町の皆様にお世話になることかと思えます。今後ともよろしくお願ひします。

めざす学校像 「一人一人の生徒の良さを引き出す学校」

- ☆ 地域を学びの題材とした学習活動の実践
- ☆ 生徒の知的好奇心を刺激し、基礎学力の定着を図る質の高い授業の実践
- ☆ 生徒の主体的な活動を促し、生徒自ら発信する活動の充実
- ☆ 生徒の良き人間関係や豊かな心を育むための学校行事の充実

2 生徒数 令和2年度 8月1日現在

学年	1年		2年			3年			計
	1組	計	1組	2組	計	1組	2組	計	
男	17	17	14	8	22	10	6	16	55
女	6	6	11	5	16	12	5	11	39
計	23	23	25	13	38	22	11	33	94

3 「新生」猪苗代高校 始動!!

猪苗代高校は、令和2年4月より**1学級本校化(普通科1クラス)**となり、少数精鋭・学ぶ内容が充実して発動し始めました。

その1つが**学校設定教科『地域探究【猪苗代学】』**。猪苗代町の観光・農業・防災に焦点を絞り、課題を見つけ、解決策を模索し、実践し、猪苗代町をよりよくしようと、地域の発展のために貢献できる生徒を育成します。

外部講師や校外学習等を通じて、町役場や地域の方々との交流、多くの地域人材の協力を得ながら学びを深めていきます。

こ 子供たちのために
る 労をいとわず
な 成し遂げるのが
我々の使命である

増蔵:誓いの俳句



4 学校生活の様子（1学期）

①観光ビジネス科2年 授業「観光Ⅱ」ネイチャーガイド講習（迎賓館周辺）

特別非常勤講師の横田清美氏から猪苗代の観光資源「自然」のすばらしさの伝え方、気付き方、感じ方等を学びました。



②「ふくしま創生人材育成事業」

② 1 学年

② 2・3 学年

1 学年

有限会社吾妻食品代表取締役・佐藤弘一氏、土津神社禰宜・宮澤重嗣氏による、地域活性化のためのワークショップを実施しました。講師の先生方から、「問題」と「課題」の違いを整理した上で、猪苗代町の現状と思い描く未来像、地域を活性化するための手立てを学びました。

2・3 学年

会津大学短期大学部産業情報学科准教授・青木孝弘氏より「地域を住みよく変えるために～新しい地域づくりの手法を学ぶ～」をテーマに模擬授業を受講し、学習意欲を高めました。

③公務員講座

今年度も、好評の公務員講座がスタート。講義はケイセン公務員ビジネスカレッジの講師からも指導を受けています。

④ボランティア活動 JRCインターアクト委員会

イベント等の中止が相次ぎ、目下、活動再開へ向けて充電中。

5 令和元年度進路実績（卒業生35名）

進学 18名	主な進学先
東海大学、国士舘大学、日本大学、千葉商科大学、武蔵野大学、放送大学、医療創生大学、福島学院大学、桜の聖母短期大学、國學院大學栃木短期大学、仙台こども専門学校、専門学校デジタルアーツ仙台、テクノアカデミー会津、東日本航空専門学校、国際アート&デザイン大学校 他	
就職 17名	主な就職先
会津よつば農協、ALSOK福島、吾妻食品、南ヶ丘牧場、太田総合病院、アセラ、日曹金属化学、サンデリカ、道の駅猪苗代、全日警 他	
本校対象の4年制大学【指定校推薦51校】 猪苗代高校から大学進学が実現可能です	

6 令和3年度 高校入学者選抜について

中学校3年生のみなさまへ。猪苗代高校では令和3年3月に実施する入学者選抜の前期選抜の【特色選抜】では、スキー競技 及び ボランティア活動に積極的に取り組む生徒の皆さんを募集します！詳細は福島県教育委員会HPをご覧ください。

発行者 猪苗代高校活性化委員会 会長 前後 公（猪苗代町長）

事務局 福島県立猪苗代高等学校 福島県耶麻郡猪苗代町字窪南 3664

電話 0242-62-3125 ホームページ <https://inawashiro-h.fcs.ed.jp/>